Lesson14～22の問題文

**特別な指示がない限り以下の設定は常に行うこと。**

１．数値、金額は整数表示とし、桁区切りスタイルを適用する

２．比率を表示する場合は、小数点第1位まで表示する

３．与えられた書式を変更しないようにする

【Lesson14】

ご請求書を以下の指示に従い作成しなさい。

１．商品名は「商品一覧」コード表を参照するようにしなさい。また、商品コードが入っていない場合は空白となるように、IF関数を使い、式を入力しなさい。

２．１．と同様に単価も式を入力しなさい。

３．金額を求めなさい。ただし、数量が入っていない場合は、空白を表示するように、IF関数を使い、式を入力しなさい。

４．小計を求めなさい。（IF関数は必要ない）

５．消費税１０％を求めなさい。（IF関数は必要ない）ただし、金額は切り捨てし、10の位までで表示しなさい。関数の桁数は「-1」とする。

６．合計金額を求めなさい。

７．最後に「ご請求金額」に、合計金額を入力しなさい。

【Lesson15】

売上実績表を以下の指示に従い作成しなさい。

１．「勤続年数」は、セル番地【I1(アイの１)】を使用し求めなさい。その際使用する関数は「DATEDIF」です。

２．「順位」を売上金額の大きい順に求めなさい。

３．上期評価を以下の内容で評価しなさい。

「上期」の売上が1000万円以上であれば「A」、それ以外は「B」

４．総合評価を以下の内容で評価しなさい。

「売上合計」が２０００万円以上であれば「A」、1500万円以上であれば「B」、それ以外は「C」

５．「評価」表のAとBに上期評価のAとBの該当件数が表示されるように式を入力しなさい。

６．５．同様に総合評価ごとの件数が表示されるように式を入力しなさい。

【Lesson1６】

全国のごみ総排出量のデータを使い、複合グラフを以下の指示に従い作成しなさい。

なお、グラフは表下に配置すること。

１．表データを使用し、複合グラフを作成しなさい。その際。以下の指示に従うこと。

２．第1数値軸には「ごみ総排出量」を設定し縦棒グラフ、第2数値軸には「1日1人あたりの排出量」を設定し折れ線グラフとすること。

３．各数値軸に単位を表示すること。単位は「万トン」「グラム」(カッコは省く)とすること。

４．凡例を表示し、グラフの下端へ配置すること。

５．折れ線グラフの値を表示し、値はグラフの上に配置すること。

６．グラフのタイトルは「ごみ排出量」とすること。

７．第1数値軸の最小値を「4000」、最大値を「5000」、目盛間隔を「100.0」とすること。

８．第2数値軸の最小値を「300」、最大値を「1200」、目盛間隔を「100.0」とすること。

９．グラフの色およびグラフスタイルを以下のように設定すること。

① 色の変更 「色４」(無ければ 緑系の色を設定すること)

② グラフスタイル 「スタイル２」

１０．タイトルを「14ｐｔ」にすること。

【Lesson17】

防災グッズ 1月度売上表について、以下の指示に従い補助縦棒グラフ付き円グラフ(商品名ごとの、売上金額の割合がわかるグラフ)を作成しなさい。

なお、グラフは表下に配置すること。

１．売上金額の多い順に並べ替えること。

２．グラフのタイトルは「防災グッズ　1月度売上構成」(スペースは全角)とすること。

３．グラフの凡例は表示しないこと。

４．グラフには割合(パーセンテージ)を表示し、小数第1位まで示すこと。また分類名も表示すること。

５．表示した割合と分類名はグラフの内部外側へ配置すること。

６．補助縦棒のプロット数を「5」にすること。

７．割合と分類名の文字色を濃い黒に設定すること。

８．グラフの色およびグラフスタイルを以下のように設定すること。

① 色の変更 「モノクロ」→ 色7(無ければ 緑系の色を設定すること)

② グラフスタイル 特に変更しない

９．グラフのタイトルを「14ｐｔ」にすること。

【Lesson18】

開催地別セミナー売上表にスパークライン(縦棒)を挿入し、月別の売上傾向がわかる資料を作成しなさい。

その際、以下の指示に従うこと。

１．セル番地P9は斜め罫線を設定すること。

２．C4：N8をもとに、P4:P8にスパークライン(縦棒)を挿入すること。

３．頂点(山)と頂点(谷)を強調表示すること。

４．スパークラインの色を青(ブルーグレーテキスト２)に設定すること。

５．マーカーの色から、山の色をグレー、谷の色をオレンジに設定すること。

６．軸の設定から、縦軸の最小値オプションをユーザー設定にて「2000」にすること。

７．６.に同じく、縦軸の最大値オプションを「すべてのスパークラインで同じ値」を選択すること。

　　続いて、開催地ごとの月別の売上が比較できる縦棒積み上げグラフを新しいグラフシートへ作成しなさい。その際、以下の指示に従うこと。

８．新しいグラフシート名を「売上グラフ」とすること。

９．単位を表示し数値軸の左に縦文字で「売上金額（千円）」とすること。

１０．数値軸の目盛間隔を「2000」にすること。

１１．グラフには凡例マーカー付きのデータテーブルを設定すること。

１２．グラフのタイトルは「開催地別セミナー売上」とすること。

１３．グラフの積み上げの順番を下図を参考に並べ替えること。



１４．グラフの凡例は表示しないこと。

１５．グラフのタイトルを「14ｐｔ」にすること。

１６．作成したグラフシートは、シート「18売上表」の右に配置すること。

【Lesson19】

10インチタブレット 2020年新機種売上表を使い、以下の指示に従って、シート「19第４四半期-売上表」を完成させなさい。また、下記に記した分析を行いなさい。

1.担当者ごとの月別の売上表を作ること。

　　その際、売り上が無いセルには「0」を表示すること。

2.売上額の多い順に並べ替えること。

3.数値は桁区切りをすること。

4.表題はセル幅で結合し中央揃えすること。

5.1月～合計列の幅を「15」で揃えなさい。

**分析を行いなさい。**

6.「第４四半期売上報告」表の右にある分析報告欄を完成させなさい。(セルをクリックすると、▼ボタンが表示されリストから選択できるようになっている。)

　　なお、売上詳細はPivotテーブルの数値をWクリックすることで、合計元データを見ることができる。

【Lesson20】

「Fruits Parlor SAKURA」の旬のフルーツ売上集計(2019年10月～12月)を以下の指示に従い編集/グラフ作成を行いなさい。また、下記に記した分析を行いなさい。

1.各店舗のフルーツの売上額を範囲選択し、データバー(単色 ぬりつぶし 青のデータバー)を設定すること。

2.合計行に適当な数値を入力しなさい。

3.売上合計に対する構成比を求めなさい。数値には％を表示し、小数点第1位まで表示すること。

4.店舗ごとのフルーツの売上高を比較できる縦棒グラフを作成しなさい。その際、以下の指示に従いグラフを設定しなさい。

　①グラフは表の下に配置すること。

　②グラフのタイトルを「店舗別売上高」とすること。

　③項目には店舗名を表示すること。

　④凡例はグラフの下に配置すること。

　⑤数値軸に単位を表示すること。

　⑥タイトルは文字サイズを大きめにすること。

**分析を行いなさい。**

5.表の右にある分析報告欄を完成させなさい。(セルをクリックすると、▼ボタンが表示されリストから選択できるようになっている。)

【Lesson21】

2020年度上期売上実績を使用し、以下の指示に従い、売上推移と達成率・部署ごとの売上実績が分かる資料を作成しなさい。

1.実績計を求めること。

2.実績計と達成率(％)の間に新しい列を挿入し、項目名を「売上推移」とすること。

3.「売上推移」に月別の売上推移が分かるスパークライン(折れ線)を挿入すること。

4.スパークラインにマーカーを付けること。

5.達成率(％)を求めること。数値は切り捨てし小数点第1位まで表示すること。

6.達成率が100％以上のセルには「濃い緑の文字、緑の背景」の書式を設定しなさい。(条件付き書式より行うこと。)

7.表題は表の幅で結合し中央揃え、文字サイズを大きくし太字の設定をしなさい。

8.表全体を範囲選択し、テーブルへ変換すること。

9.最優先されるキーを「部署」、次に優先されるキーを「氏名」とし、どちらも昇順で並べ替えをすること。

10.売上推移の列幅を「15」にすること。

　　　シート「21部署別実績計-02」の「2020年度上期売上実績」を完成させなさい。その際、Pivotテーブルを使用すること。

11.数値は桁区切りをすること。

12.部署および実績計の列の列幅を「15」に設定すること。

【Lesson22】

お見積書を以下の指示に従い書式の変更および見積もりに必要な数式の編集を行いなさい。

1.セル番地G2に今日の日付が表示されるように関数を入力すること。（TODAY関数を使用する。）

2.G2の表示形式を「令和〇年□月△日」となるように変更すること。

3.宛名は「株式会社フジサワ」とすること。

4.「お見積金額」の金額表示セルに以下のコメントを設定すること。

『再度確認すること』

以下、見積り表の設定を行う。事前にシート「22-02コード表」を確認しておくこと。

5.商品名は以下のとおり数式を入力すること。

→ 商品名は商品コードが無ければ空白とし、商品コードが入力されている場合は、コード表があるシートから参照するようにする。

6.単価も5.同様に数式を入力すること。

7.金額は以下のとおり数式を入力すること。

→ 金額は数量が無ければ空白とし、数量が入力されている場合は、単価×数量で求めること。

8.税率は7.同様に数式を入力すること。なお、税率の参照先は5.同様にコード表を使用すること。

9.No.1の数量を「20」、No.2の数量を「15」を入力すること。

10.「8％対象 小計」には、見積り表の税率が「8％」の金額を合計すること。

11.「消費税 8％」には、10.の金額に対する8％の税額を表示しなさい。なお、税額は小数点以下を切り捨てし整数表示すること。

12.「10％対象 小計」には、見積り表の税率が「10％」の金額を合計すること。

13.「消費税 10％」には、12.の金額に対する10％の税額を表示しなさい。なお、税額は小数点以下を切り捨てし整数表示すること。

14.「総計」に、10.～13.の金額をすべて合計すること。

15.14.で求めた総計額を『お見積金額』に表示しなさい。ただし、以下のように式を工夫すること。

→ 総計が空白だった場合は空白とし、そうでなければ総計額が表示されるようにすること。

16.金額・数量には桁区切りスタイルを設定すること。

17.3つ目のデータとして商品コード「3005」を入力すること。入力後、表内の必要なデータが表示されていることを確認し、お見積金額も更新されているか確認すること。

問題は以上です。

お疲れ様でした。